

2016年度3Q決算実績

2017年2月2日



日鉄住金物産株式会社

NIPPON STEEL & SUMIKIN BUSSAN CORPORATION

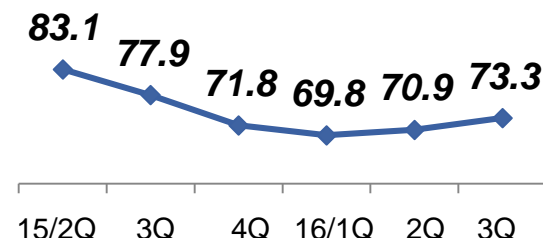
1. 2016年度3Q決算実績及び2016年度見通し
2. 参考資料

1. 2016年度3Q決算実績及び 2016年度見通し

2016年度3Q決算のポイント

- 期初の鋼材市況の大幅下落影響を主体に売上高は前年同期比▲9.9%の1兆3,171億円
- 鉄鋼事業の減益と産機・インフラ事業の前年同期の一過性利益剥落があったが、収益改善努力等により経常利益は前年同期ほぼ横ばいの213億円

当社鋼材販売単価の推移（千円/t）



売上高

億円

経常利益

億円

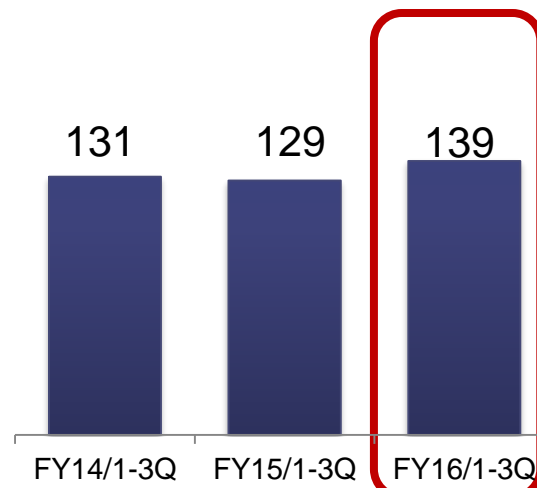
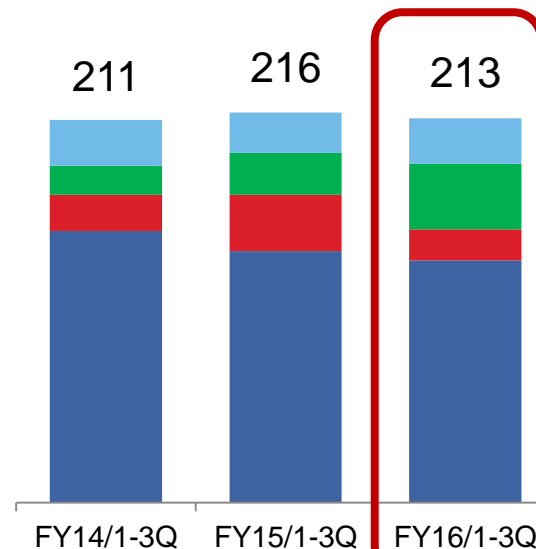
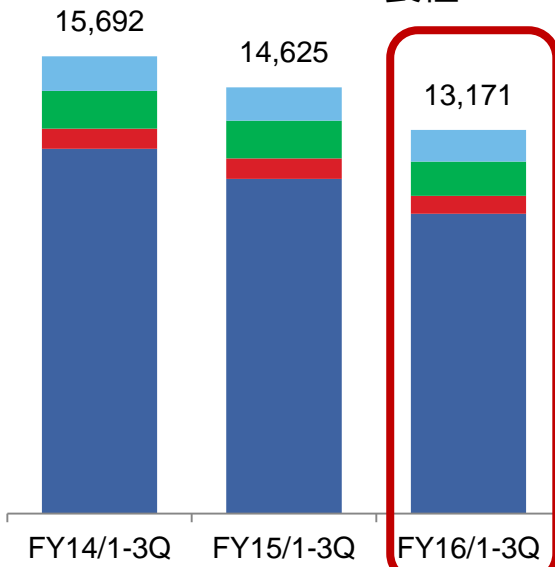
当期利益 *

億円

■鉄鋼 ■繊維
■産機インフラ ■食糧

■鉄鋼 ■繊維
■産機インフラ ■食糧

* 親会社株主に帰属する当期純利益（以下同じ）



2016年度3Q決算概況

- 営業利益は、販管費の減等を主体に前年同期比5%増の210億円
- 当期利益は、特別損益の改善により前年同期比8%増の139億円

億円	2015/					2016/	15/1-3Q 対比
	3Q	1-3Q	1Q	2Q	3Q	1-3Q	
*1 鋼材販売量 (千トン)	3,469	9,954	3,317	3,606	3,435	10,357	403
*1 鋼材単価 (千円/トン)	77.9	82.3	69.8	70.9	73.3	71.4	-6.5
売上高	4,708	14,625	4,185	4,441	4,544	13,171	-1,454
(利益率) 売上総利益	(6.8%) 323	(6.7%) 984	(7.3%) 306	(6.8%) 302	(6.8%) 311	(7.0%) 920	-63
営業利益	64	199	70	65	74	210	10
持分法損益	2	21	4	2	2	9	-11
為替差損益	-3	-5	-3	-1	1	-4	1
経常利益	62	216	72	63	77	213	-2
特別損益	-10	-21	-32	29	0	-2	19
当期純利益	30	129	25	62	51	139	10
*2 EPS(円)	99.7	418.3	81.5	202.7	167.1	451.3	33.0

*1 何れも単体、販売量には半製品を含む

*2 2016年10月1日を効力発生日として、10株を1株とする株式併合を実施したため、2015年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し算定

セグメント別売上高・経常利益増減

売上高

億円	FY15/1-3Q	FY16/1-3Q	増減	
鉄鋼	11,481	78% 10,284	-10%	-1,196
産機・インフラ	700	5% 612	-13%	-87
繊維	1,288	9% 1,173	-9%	-114
食糧	1,145	8% 1,088	-5%	-57
売上高計	14,625	100% 13,171	-10%	-1,454
海外売上高比率	26.6%	24.9%	-1.7%	

経常利益

億円	FY15/1-3Q	FY16/1-3Q	増減	
鉄鋼	138	63% 133	-4%	-4
産機・インフラ	31	8% 17	-45%	-14
繊維	23	17% 36	58%	13
食糧	22	12% 25	13%	2
経常利益計	216	100% 213	-1%	-2

鉄 鋼

鋼材の国内外流通及び加工販売及び
原燃料・機材販売

- ・鋼材単価下落影響を主体に減収減益
- ・鋼材内需は、建設向け、製造業向け共に回復傾向
- ・鋼材市況も秋以降回復傾向が鮮明に

産機・インフラ

産業機械・工作機械、自動車部品、
鉄道車両品、アルミ製品等の販売及び
インフラ事業

- ・ロシアパイプライン向け鋼材取扱減主体に減収
- ・経常利益は、前年同期のタイにおける持分法適用会社の企業結合による一過性利益の剥落等により減益

繊維

アパレルメーカー/小売向けOEM・ODM
生産及び国際物流・海外ブランド事業等

- ・アパレルの厳しい販売環境は継続
- ・経常利益は円高効果を含む原価低減施策の実行とグループ会社損益の改善により増益

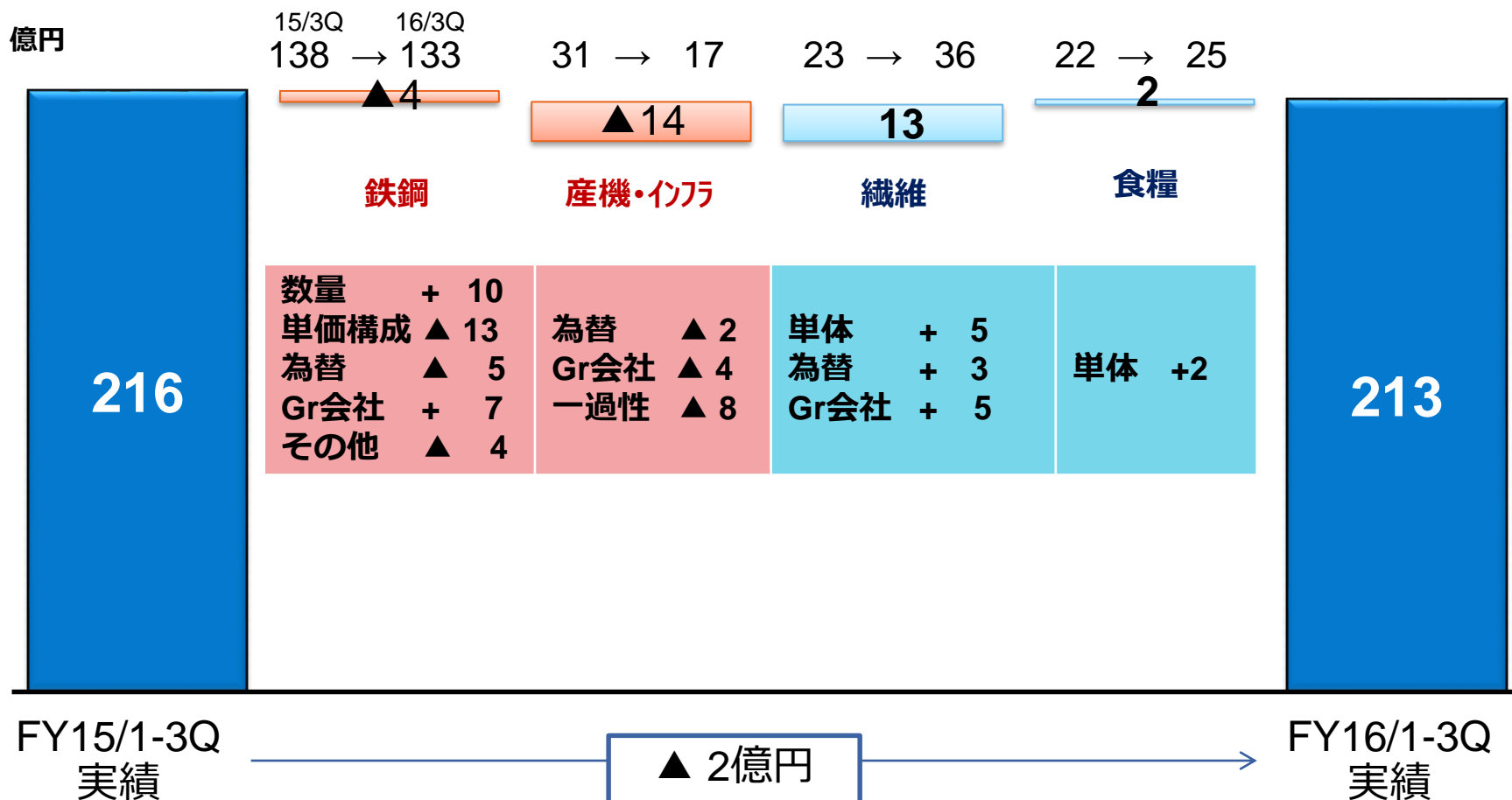
食糧

食肉及び食肉加工品、水産品及び水産
加工品等の輸入販売及び外食事業

- ・食肉価格は全体として弱含みで推移する一方、利益率の改善等から減収増益

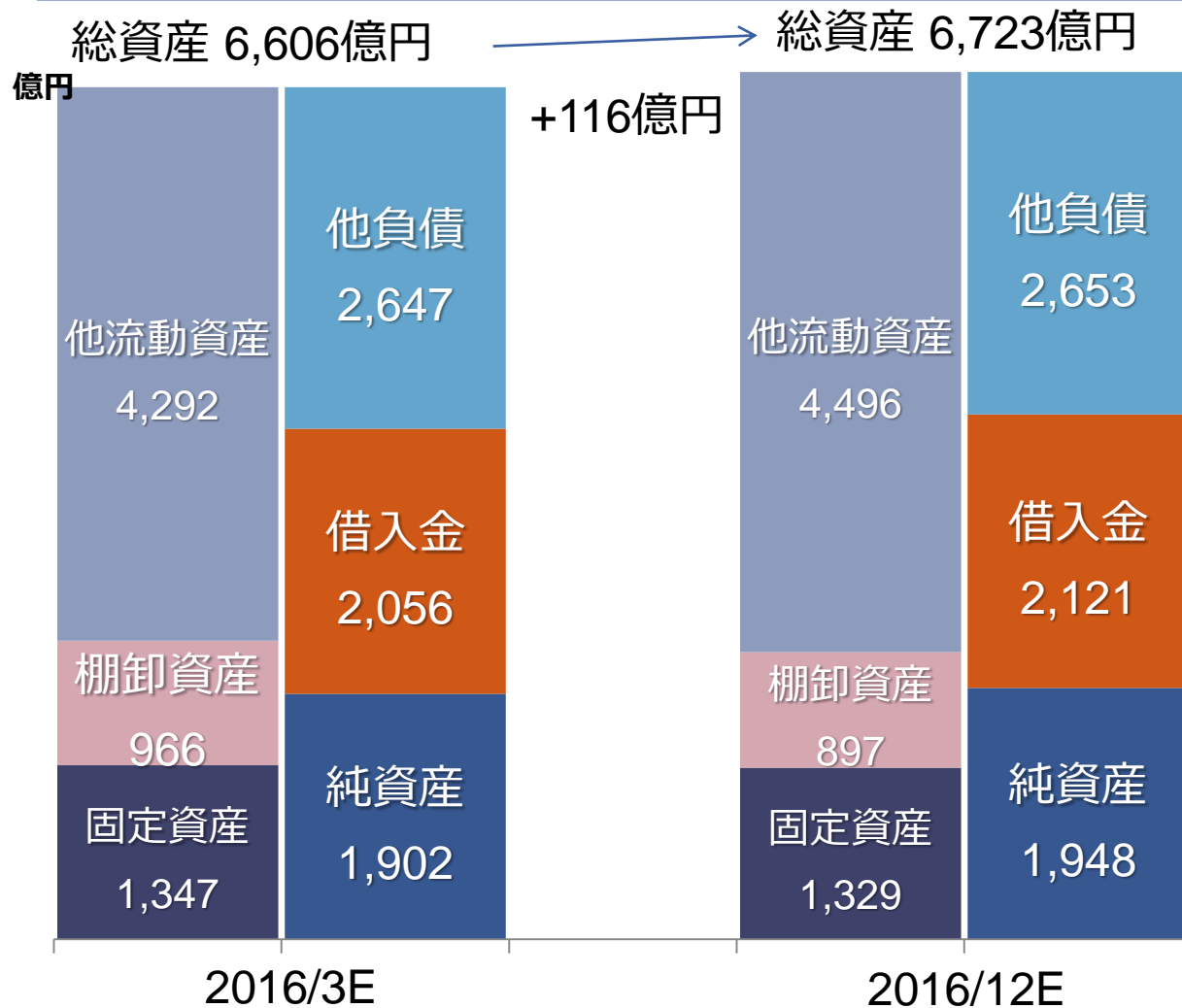
経常利益増減要因 (15/3Q<累計>実績→16/3Q<累計>実績)

- 鉄鋼の数量増、繊維のコスト改善、食糧の利益率改善等の増加要因があったが、鉄鋼の単価下落影響と産機・インフラの前年一過性増益要因の剥落影響もあり経常利益は前年同期ほぼ横ばいの213億円

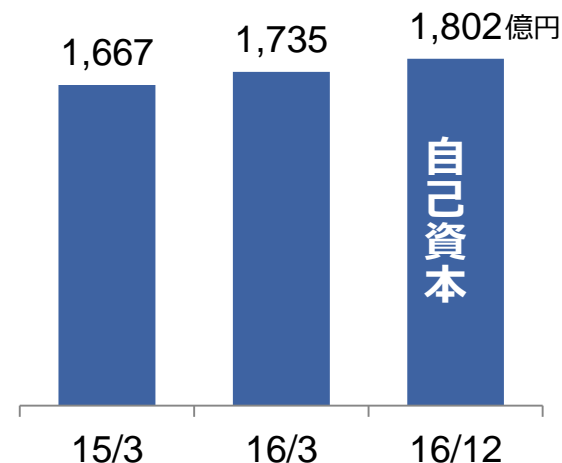


バランスシートの状況

- 鋼材価格上昇に伴い売上債権、借入金が増加するも、自己資本比率は26.8%に改善



	16/ 3E	16/ 12E	増減
自己資本比率	26.3%	26.8%	+0.5%
Net - DER	1.1倍	1.1倍	—



16年度業績見通し及び配当方針 <変更無し>

億円	FY15	上期実績	3Q実績	下期見通し	FY16見通し	増減 16 - 15
売上高	19,308	8,626	4,544	10,174	18,800	-508
営業利益	278	135	74	155	290	12
経常利益	290	136	77	164	300	10
当期純利益	173	87	51	88	175	2
*配当(円/株)	150	75		75	150	-
配当性向	26.8%				26.5%	

* FY15, FY16上期の配当は株式併合後の数値で換算した金額

<参考> 剰余金の配当等の決定に関する方針

当社は株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題の一つとして考え、財務体質の改善を図りつつ、連結配当性向25%～30%を目安に業績に応じた配当を行うことを基本方針といたします。

セグメント別 経常利益見通し

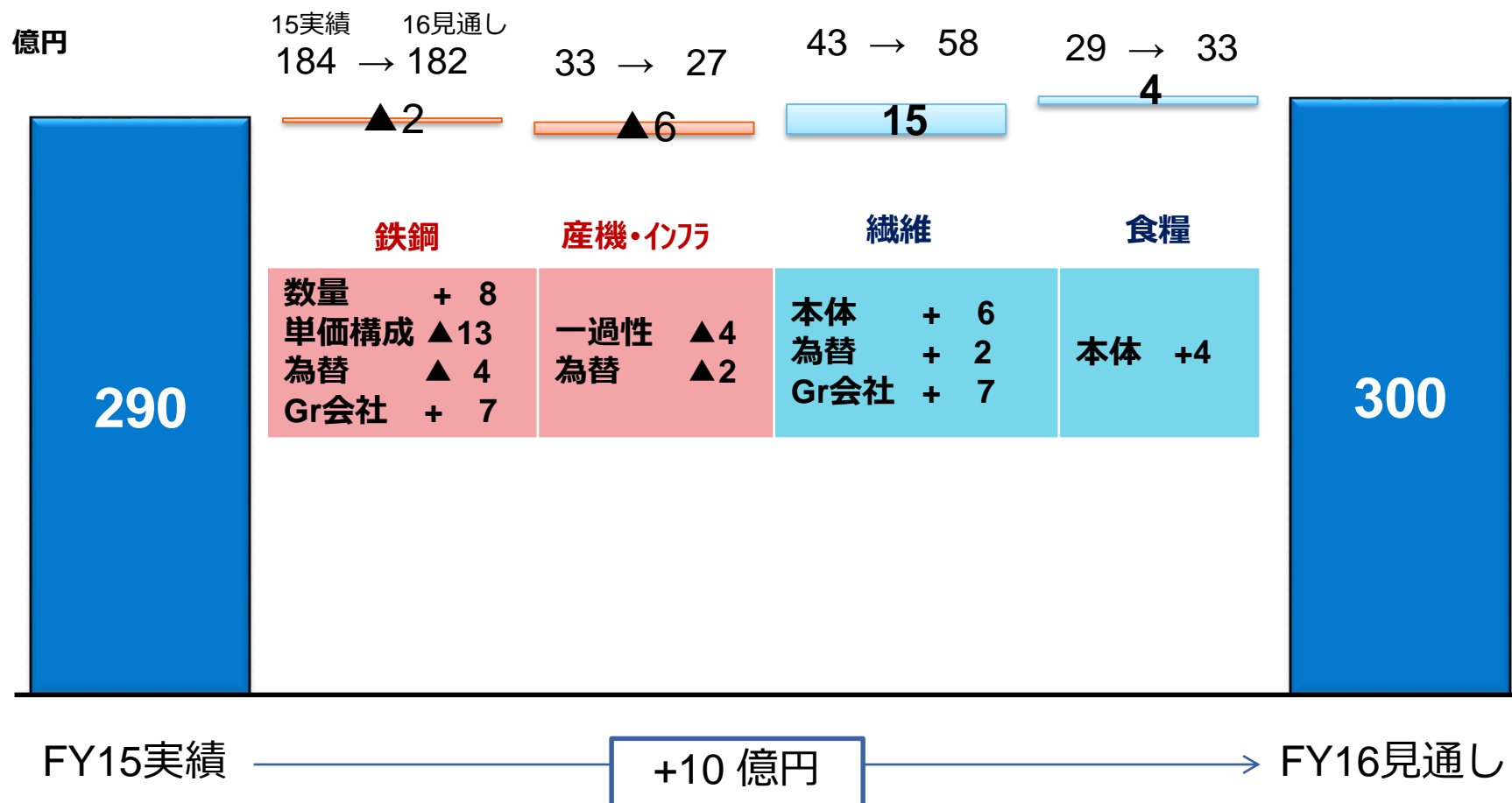
億円	FY16 見通し	増減 16-15
鉄鋼	182	-2
産機・IT	27	-6
繊維	58	15
食糧	33	4
経常利益計	300	10

FY16設備投資・
事業投資見通し

150億円

経常利益増減要因（FY15実績→FY16見通し）

- 鉄鋼の数量増、繊維のコスト改善、食糧の利益率改善、グループ会社改善等により、鉄鋼の単価下落影響と産機・インフラの前年一過性増益要因の剥落影響をカバーし、前期対比で+10億円の増益計画

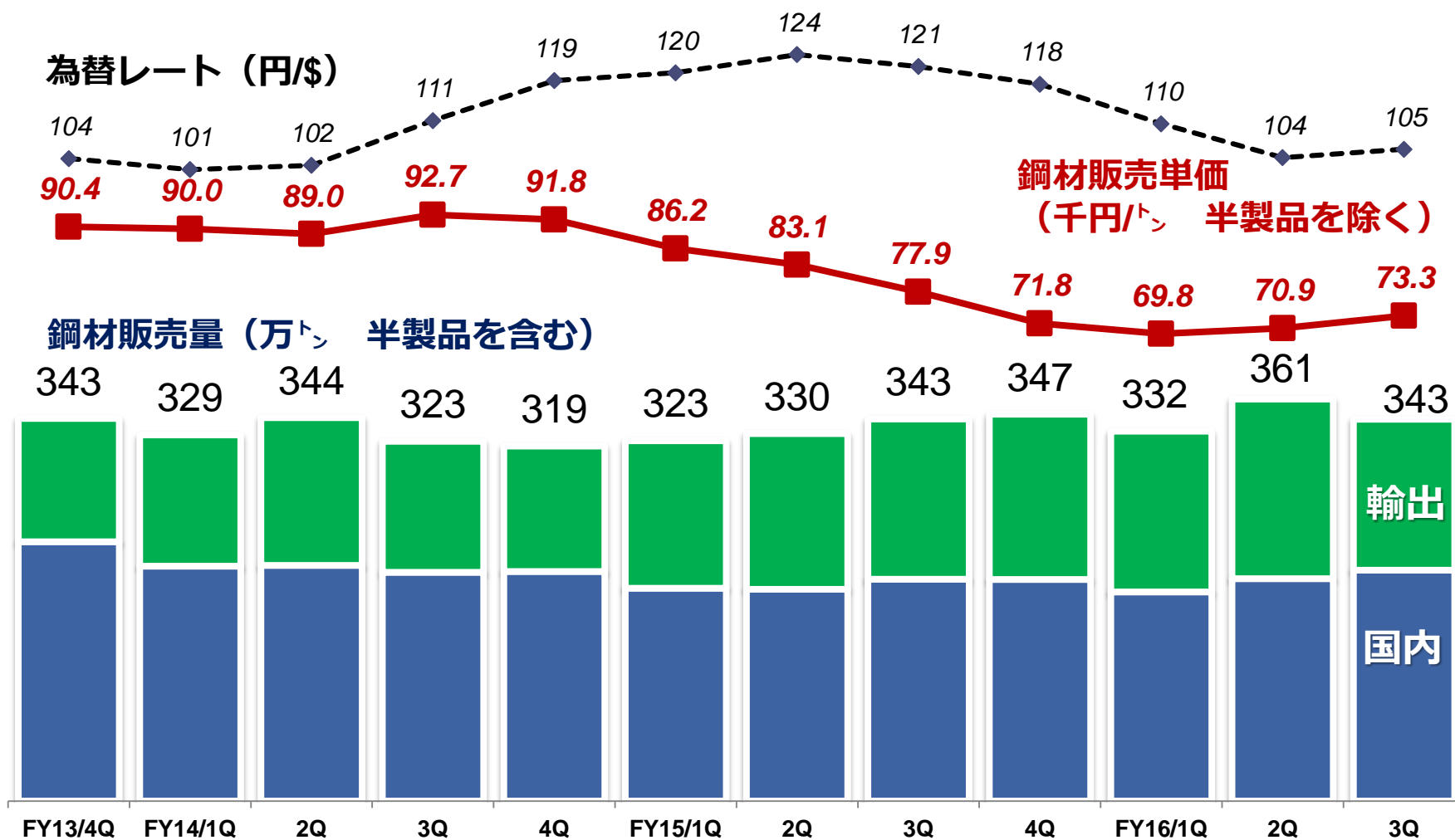


2.参考資料

四半期別売上高・経常利益推移

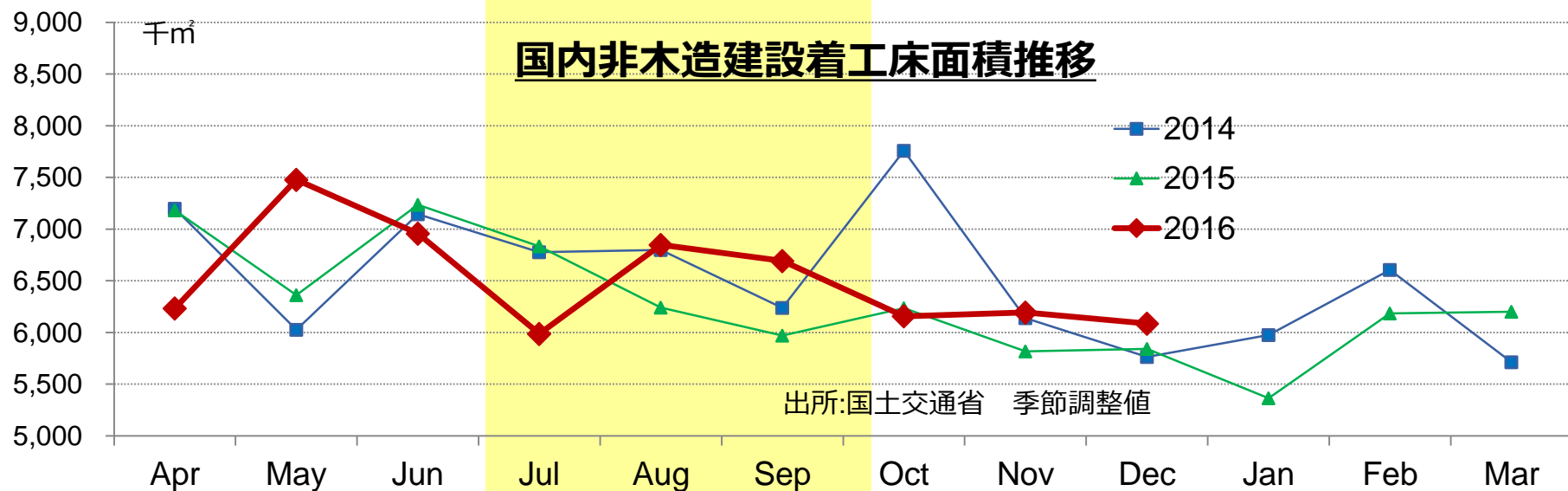
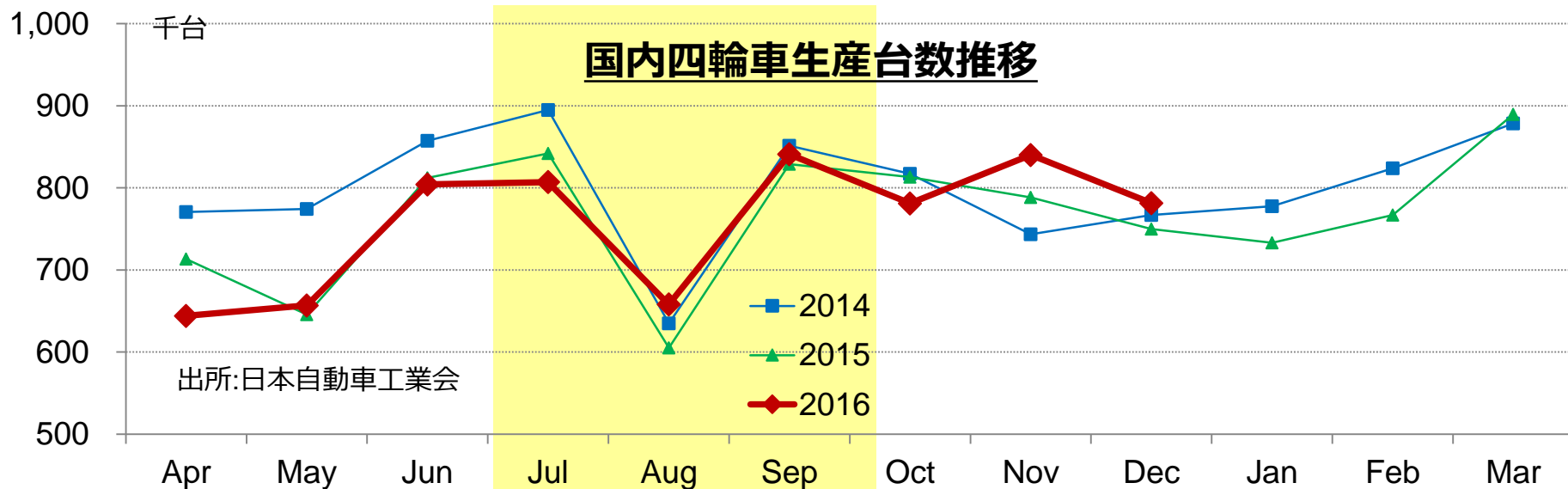
億円	FY2014		FY2015				FY2016		
	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
鉄鋼	4,286	4,286	3,853	3,973	3,654	3,629	3,230	3,472	3,581
産機仟万	259	236	235	259	205	232	214	202	195
繊維	454	484	390	429	467	473	373	394	404
食糧	413	343	378	386	380	344	363	365	359
その他	2	3	3	6	0	3	3	5	3
売上高計	5,415	5,353	4,860	5,056	4,708	4,682	4,185	4,441	4,544
鉄鋼	54	57	54	44	38	46	38	42	52
産機仟万	11	11	19	7	4	1	7	4	4
繊維	3	20	7	5	10	19	16	8	11
食糧	8	4	7	6	8	6	9	7	7
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常利益計	77	94	88	65	62	74	72	63	77

鉄鋼部門（単体） 鋼材販売量と単価の推移

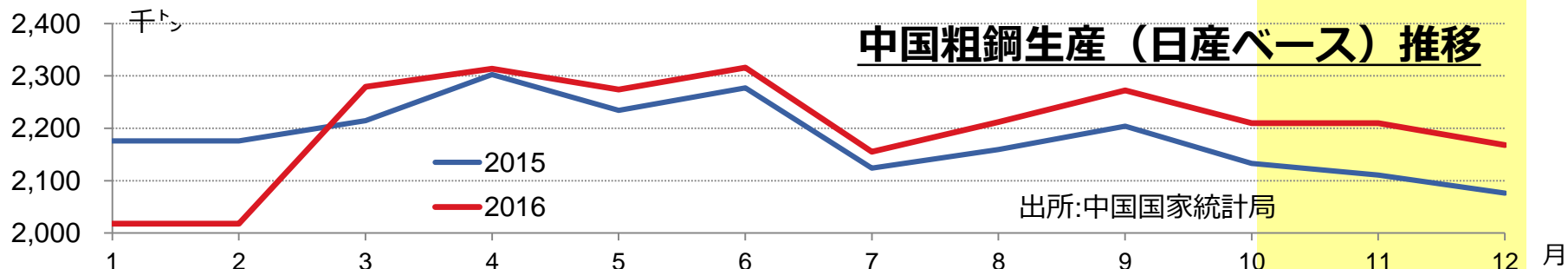
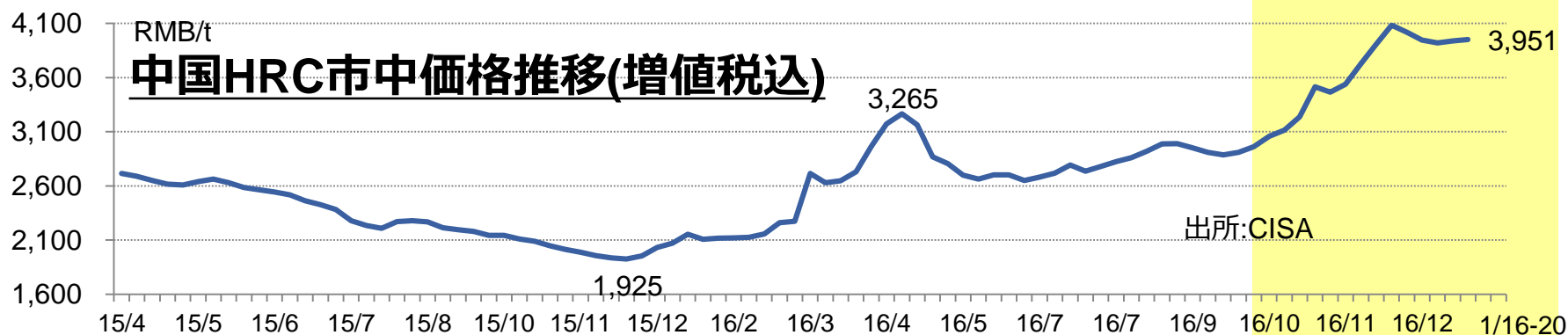
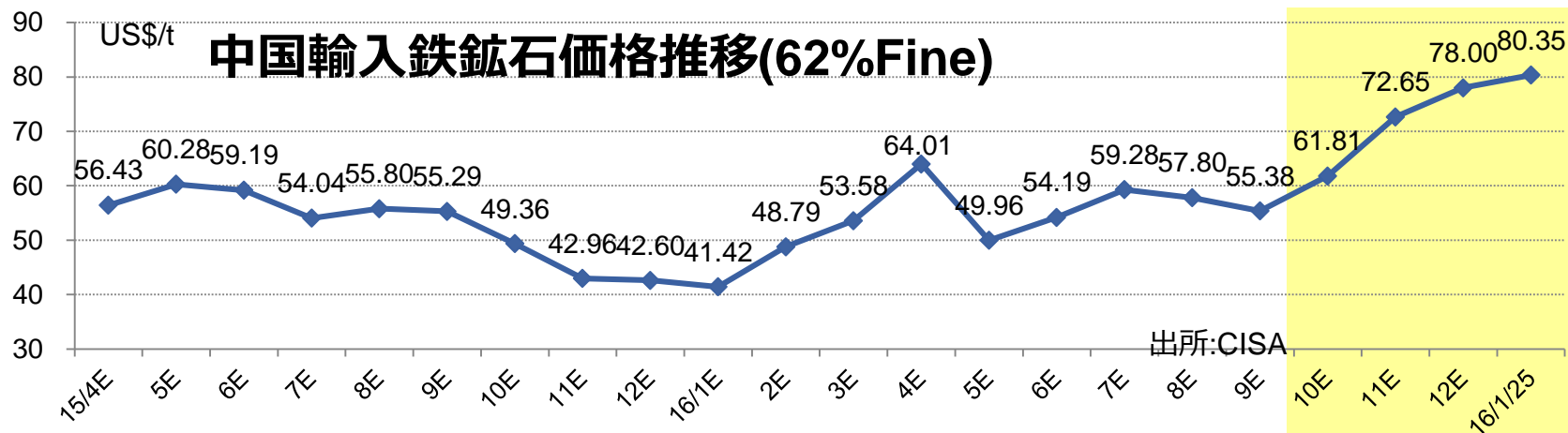


出所：当社調べ

国内需要産業の動向

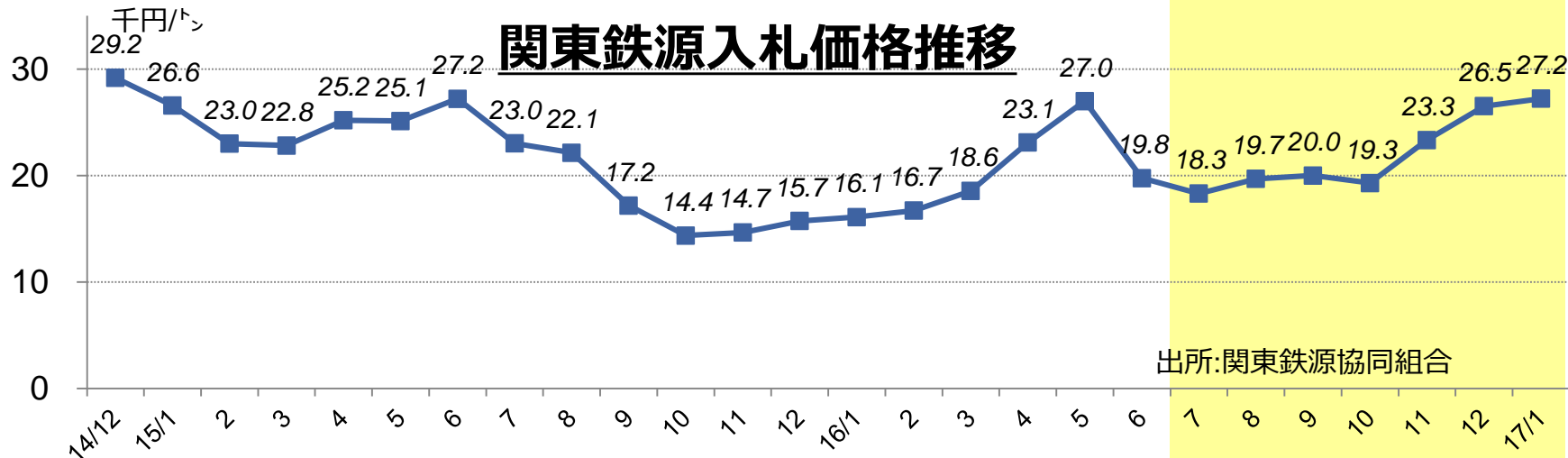


中国内市況

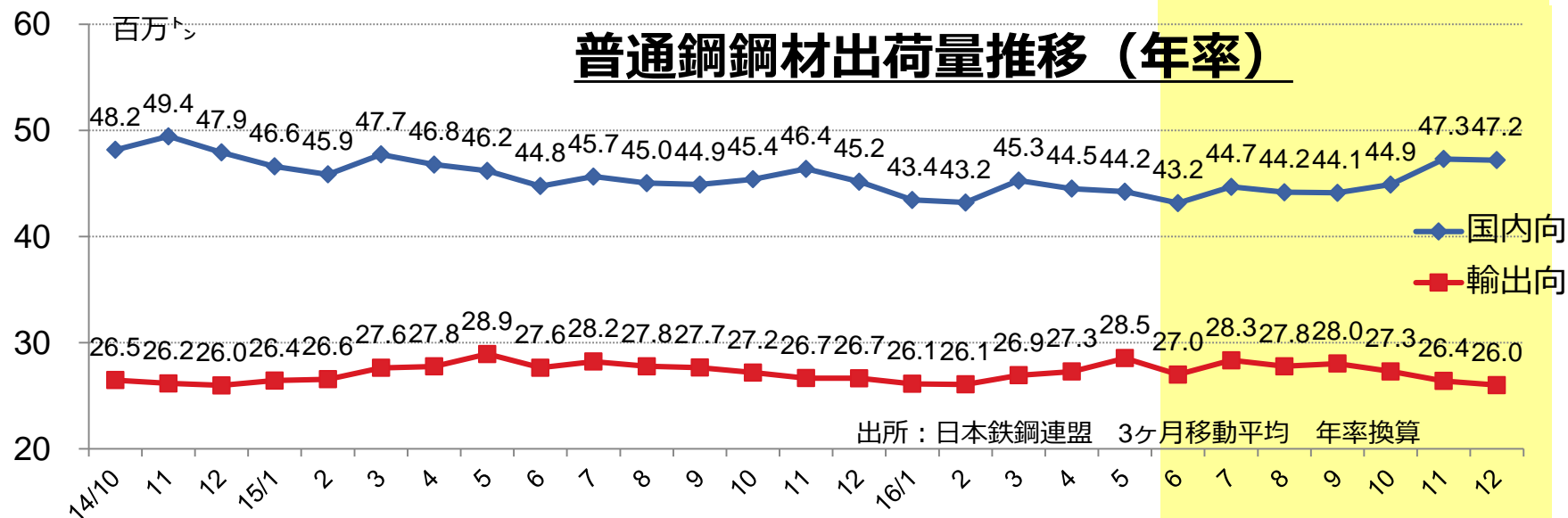


国内鋼材関係データ

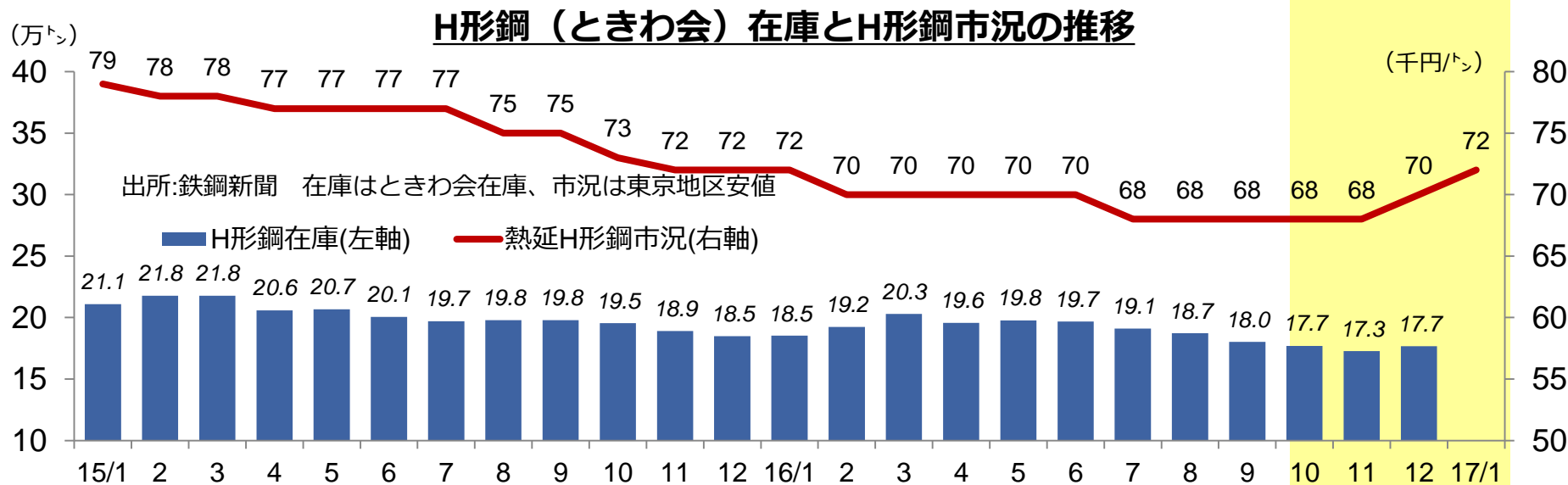
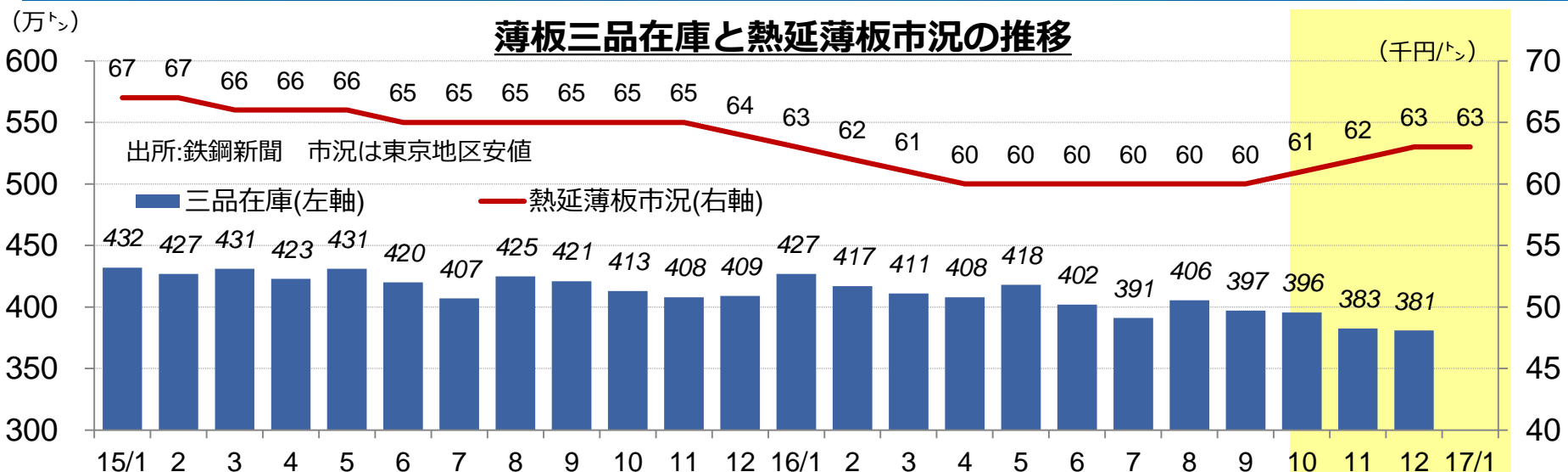
関東鉄源入札価格推移



普通鋼鋼材出荷量推移 (年率)

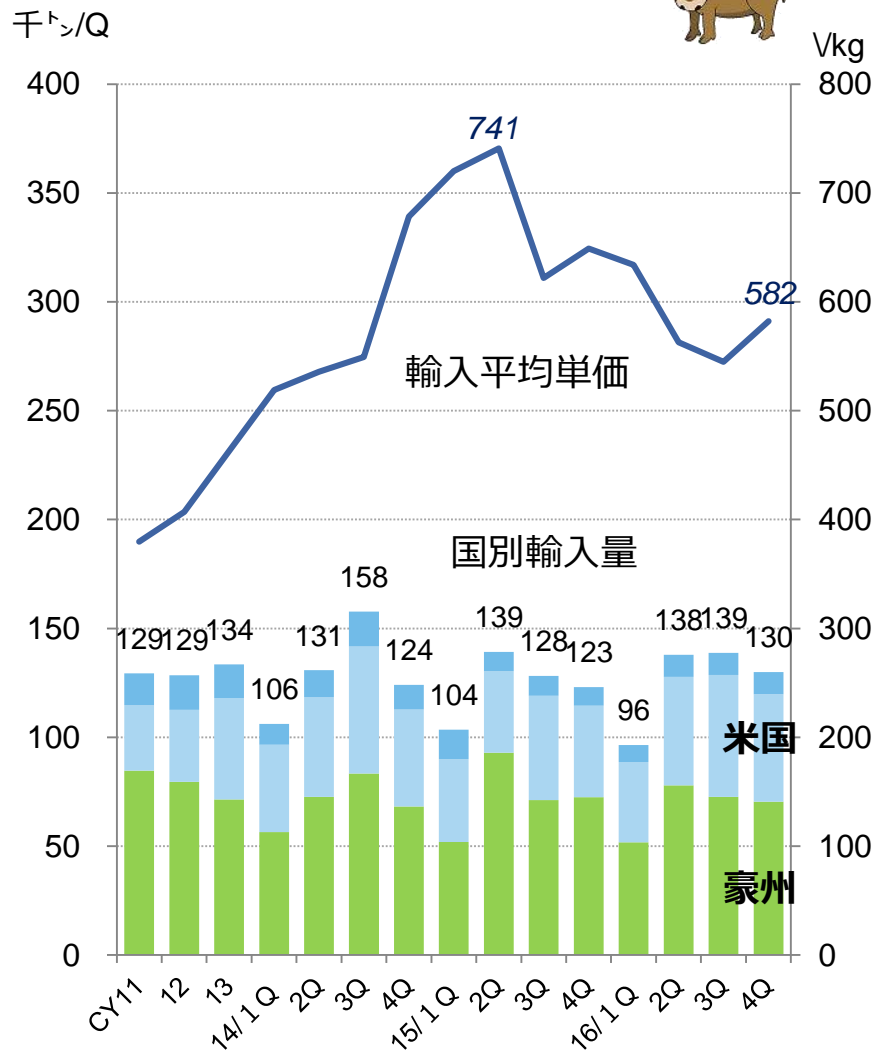


国内鋼材市況の推移



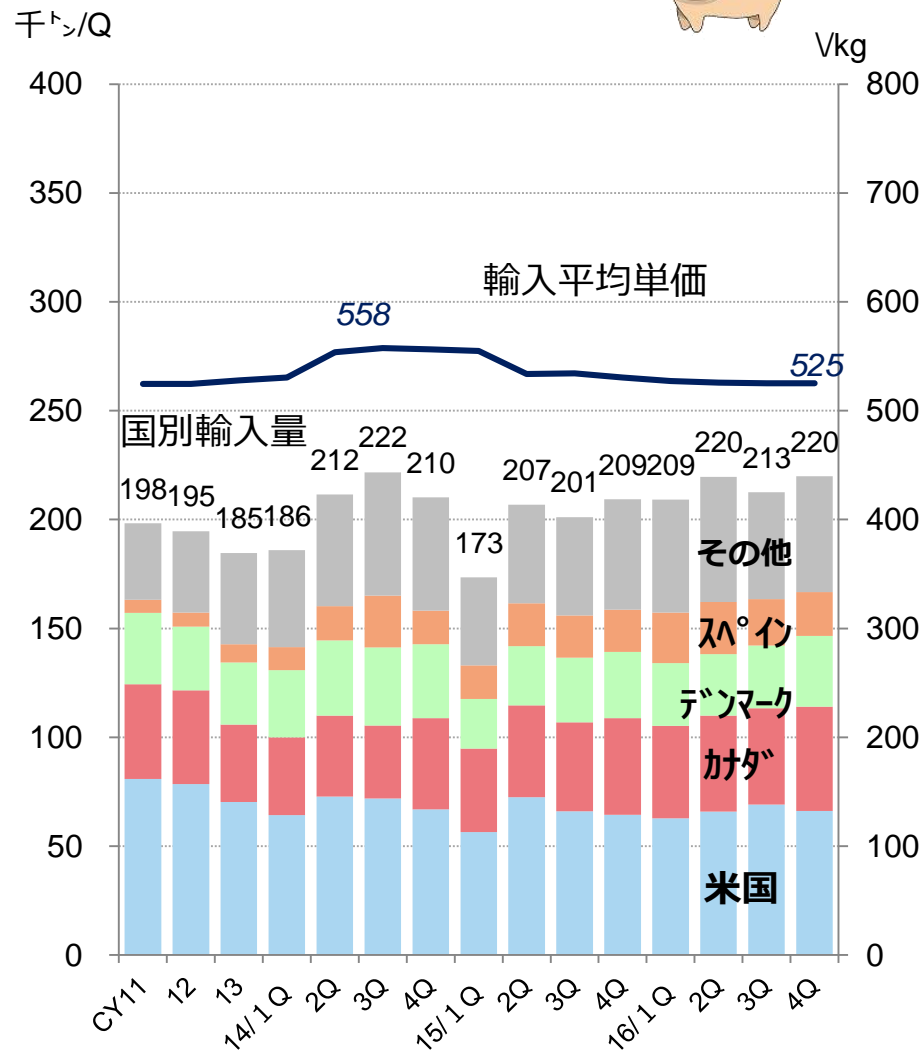
食糧事業関係データ-1

輸入牛肉量及び輸入価格



(出所)通関統計

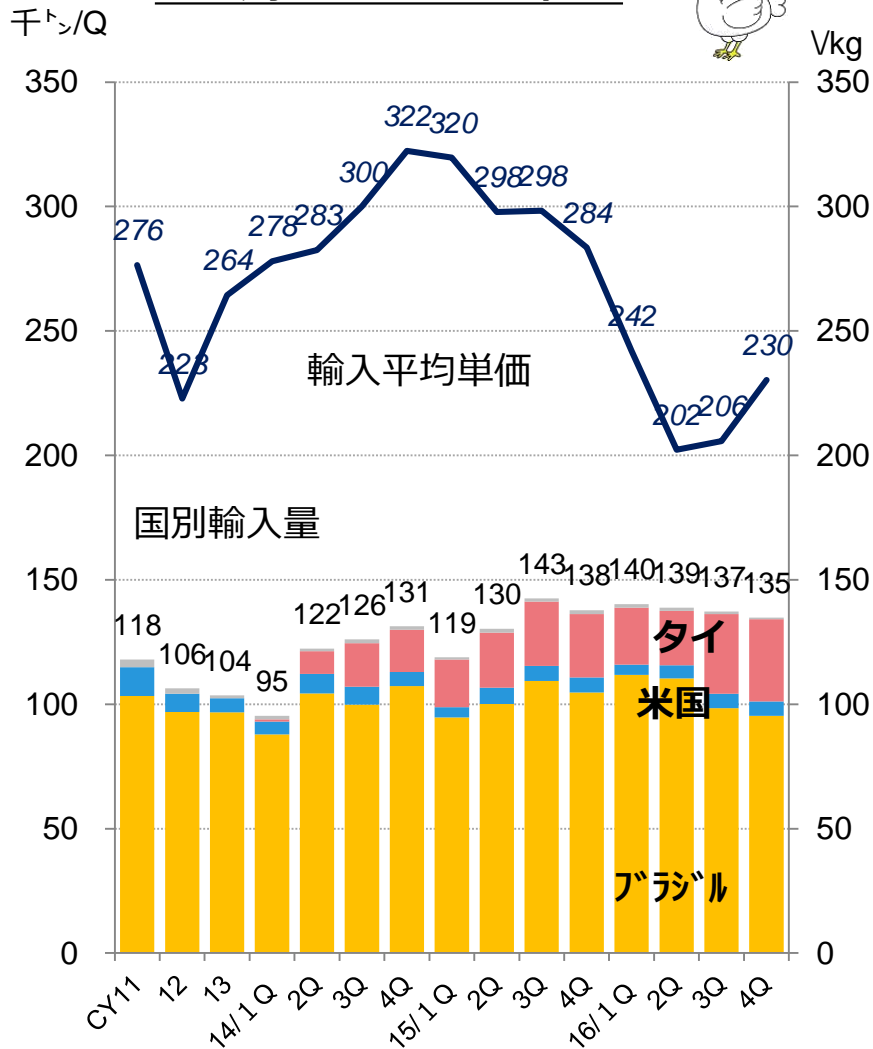
輸入豚肉量及び輸入価格



(出所)通関統計

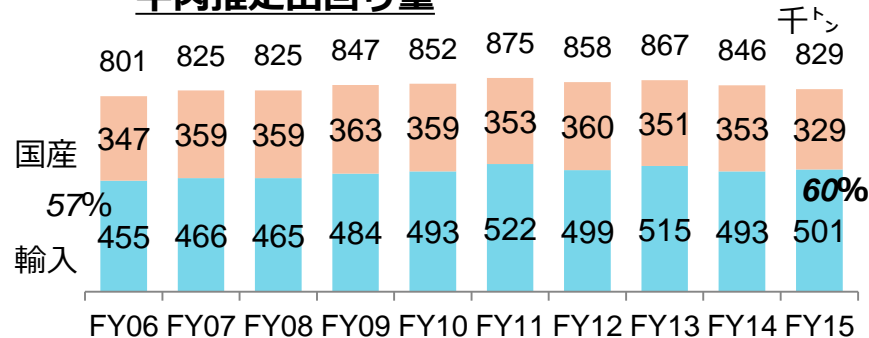
食糧事業関係データ-2

輸入鶏肉量及び輸入価格

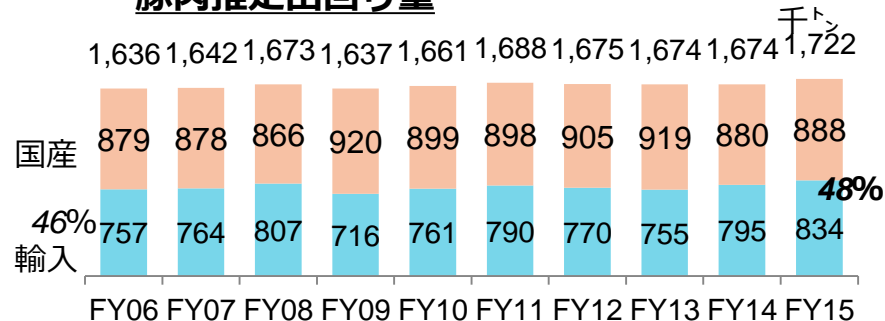


(出所)通関統計

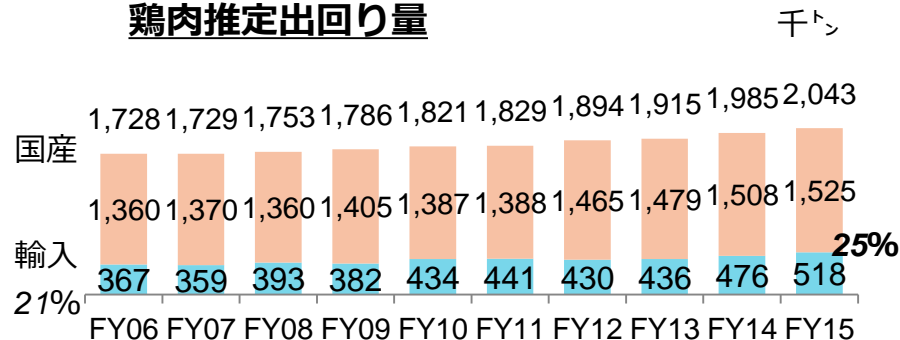
牛肉推定出回り量



豚肉推定出回り量



鶏肉推定出回り量



(出所)農畜産業振興機構

中期経営計画(2015～2017)の概要 < 2015/5月公表 >

主要施策

当社の強みを活かした 成長戦略の推進

鉄鋼シェアアップ
海外取引比率向上

アパレルODM
海外売上拡大

ヘッドレスト事業拡大
タイ工業団地拡張

食糧海外ビジネス
強化・拡大

3カ年投資枠450億円 (+25%)

業界トップクラスの競争力の 維持・強化

安心・安全・
品質の追求

業務基盤
拡充

生産性向上
業務効率化

統合シナジーの発揮

定量目標

2017年度目標 (FY14対比)

売上高 **2兆3,000億円** (+ 9%)

内海外 **6,800億円** (+23%)

経常利益 **360億円** (+18%)

当期利益 **210億円** (+18%)

目標財務体質

ROE **10% 以上**

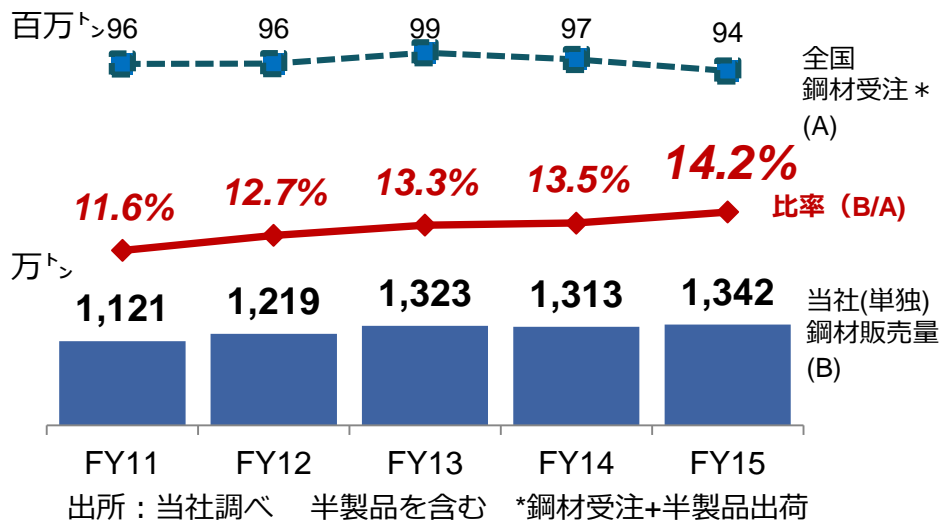
株主資本 **2,000億円 以上**

Net DER **1.0 未満**

配当性向 **25%～30%**

当社の強み 業界トップクラスのポジショニング

● 鉄鋼部門（単独）鋼材販売量推移



● 車輪・車軸



国内取扱高第2位

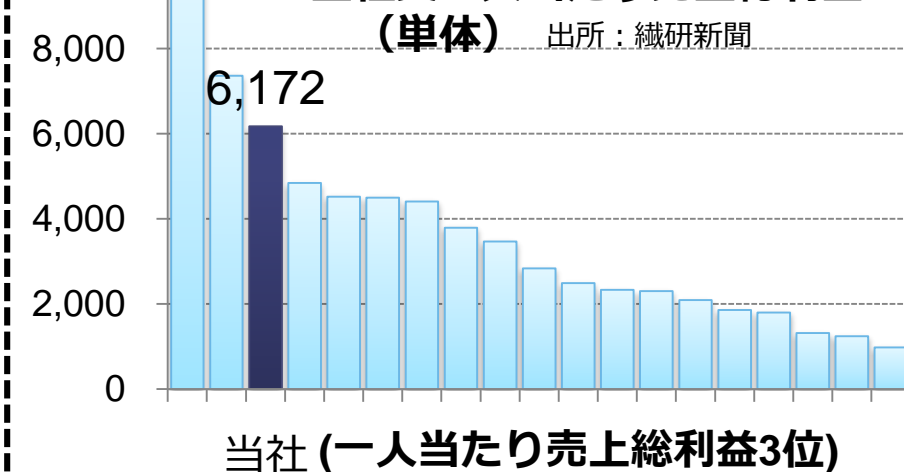
● ヘッドレストステー



世界シェア約13%

出所：当社調べ

● 14年度商社繊維部門 正社員一人当たり売上総利益 (単体)



● 当社の食肉輸入シェア推移

金額ベース

	2013年	2014年	2015年
牛肉	4.3%	5.2%	5.0%
豚肉	6.7%	8.4%	9.3%
鶏肉	8.7%	8.3%	*6.9%

出所：通関統計

*鶏肉市況下落影響緩和の観点から輸入量抑制

日鉄住金物産株式会社企業理念

1. 新たな社会的価値を持った製品、サービスを生み出す
高い志を持った企業グループであり続けます。
2. 信用、信頼を大切にし、お客様と共に発展します。
3. 人を育て人を活かし、人を大切にする企業グループを創ります。

本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料でなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料に記載された将来の予測等は、説明会の時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、不確定要素を含んでおります。従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されまことはお控えくださいますようお願い致します。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。



日鉄住金物産株式会社

NIPPON STEEL & SUMIKIN BUSSAN CORPORATION